

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成21年10月(2009年) No.526

第49回OMC映像フェスティバル 大盛会にて無事終了

10月4日(日曜)午後1時より開催された第49回OMC映像フェスティバルは、晴天にも恵まれ、開場時より観客が詰めかけて開会挨拶時にはほぼ空席が見当たらないほどの盛況で上映が始まりました。今年は平均上映時間が11分を越す比較的長い作品が多数ありましたので、上映作品本数は例年より少ない14本でしたが、最初の1本目からハイビジョンで、ラストの会長作品のみが4対3のSD作品という、ハイビジョン時代そのものの発表会でした。画面も黒田先生ご提供の1万ルーメンという驚異的な明るさで観客の皆様にもきつとご満足を頂いたものと思います。お帰りの際に良かったというお言葉を何人もの方から頂戴し、又、後日お便り下さった方もありました。内容的にも今年の作品はレベルが高い作品が多く見られたのではないかと考えております。来年は50周年記念発表会です。来年へ向け、良い作品づくり目ざして会員諸氏のご活躍を期待しております。

■祝電を頂いた方(第2部の始めにご披露させて頂きました)

- ・加藤 雅巳様 日本アマチュア映像作家連盟会長
- ・川上 勝晤様 東京アマチュア映像連盟顧問
- ・河辺 明彦様 新潟アマチュア映像協会会長
- ・中嶋 哲 様 京都アマチュア映像連盟会長
- ・石毛 文男様 銚子映像クラブ会長
- ・金子豊一、喜代子様 映像神奈川会長
- ・鍛崎 道弘様 和歌山8ミリビデオサークル会長
- ・神戸映像会員一同様
- ・吉岡 博行様 吉岡映像代表取締役

10月例会のお知らせ

10月例会は第4土曜日24日18時より、大阪市立難波市民学習センター(JRなんば駅上OCATビル4階)にて開催。皆様のお越しをお待ち申し上げます。作品の方もどうぞお持ち下さい。

◎祝電を頂いた方には、早速お礼状をお出ししました。

■ご祝儀を頂いた方

- ・上総修一郎様 3万円
- ・佐原説二様 1万円

以上、まことに有難うございました。

■映像発表会

- ・10月24日(土)13時～：堺市民会館小ホールにて、ビデオサークル・堺ほか
- ・10月25日(日)13時～：大阪市立中央図書館にて、大阪アマチュア映像祭
- ・11月1日(日)(ご案内は12日現在無)京都アマチュア映像連盟発表会
- ・11月3日(祭)(ご案内は12日現在無)神戸映像50周年記念映写会

お時間のつく方はどうぞいらっしゃって下さい。

■予告：12月例会は予定通り第4土曜日26日18時より、当日13時より幹事会、15時より世話役会を開催。1月は第3日曜13時～

9月例会レポート

今月は会長が結婚式のためお休みでしたが、どういうわけか出席者は30名の大台に達し、更に作品のみの出品で鹿児島島の山口さん、高槻的那須さんの作品も加わり19本という多くの作品が出品されました。

今月の司会は有村氏、書記、岡本氏、受付兼照明係は紙本、渡辺の両氏、映写係はいつもの河合、江村、増池の3氏の担当で会を進行しました。

◆出席者：有村、井上、上田、石垣、江村、岡本、蟹江、河口、上総、紙本、河合、黒田、進藤、関、西井、錦、西村、藤原、前田、増池、宮井、宮崎、森口、森下、森田、安居、山本、吉岡、渡辺の各氏と見学者坪井の計30氏と作品19本でした。那須氏と山口さんは作品出品のみ。

1. いかだくんだり(SD)

西井 学さん 8分20秒

第28回滋賀県野州川冒険大会の様子が撮影されました。こどもたちが工夫をこらしてつくられた「いかだ」に数人が乗って川くだりを競い合うシーンから始まります。おそらく20隻以上はあるのだろうか、

色とりどりのいかだが画面をかざります。中には転覆して川にはまるこどももありました。そして模擬店が映し出された後、表彰式が行われます。レースを競い合うよりも創造力あふれるいかだが優勝されました。この作品は、川岸からの撮影の為アップが撮れないのが残念ですね。模擬店を最初にもってきてムードをだしてから川くだりに入った方が良かったですね。こどもたちの楽しい様子がよくでていました。

2. 名水紀行・塩釜の冷泉(W)

森口 吉正さん 7分30秒

作者の名水シリーズ、今回は岡山県と鳥取県の県境にある蒜山高原を訪ねられました。黄金色に実る田圃の向こうにかかる朝霧、森の中の水音が画面から心地よく聞こえます。名水百選にも数えられた冷泉から流れ出した水は水車小屋を通り山裾へと広がります。牧場には牛がたわむれており、日本の源風景をみせていただきました。

3. 場末のジャズメン・2(W)

増池 茂さん 8分30秒

大阪新世界のジャンジャン横町、立ち飲みジャズ酒場を撮影されました。経営者のママが歌うジャズにバンドの音色が響きます。そしてカウンターに群がるお客さんがジャズとお酒に酔いしれています。飛び入りされた旅行者の17歳の少年、なにかジャズショーを見ているようです。無許可で撮影されたとか、よくもまあカメラを向けられました。

4. 大恐竜帝国(HDV)

安居 利次さん 8分00秒

恐竜ファンでもある作者。この8月南港ATCホールで開催された恐竜展を取材。ただ撮影するだけでは面白くない、そこで作者と恐竜の掛け合いを「音声合成ソフト」を使って創作されました。大変面白い、大人である筆者も感動しました。こどもたちに見せたらもっと喜ぶだろう。フィクションがあるところがまた良かった。

最近、石川・白山で98年発見の草食性恐竜の化石が、国内4例目の新種の恐竜に「アルバロフォサウルス・ヤマグチオロウム」として認められたとか、話題が絶えません。夢があつていいですね。

5. ああ大森城址 (HDV)

紙本 勝 5分20秒

この作品は、歌手、北川祐二の歌に映像をつけられたものです。福島県福島市大森にある大森城は桜花爛漫、戦国の古城として、特に、俗眼竜政宗の世には相馬、安達、会津攻めの出撃基地として主要な役割を果たした城です。歌をとれば、カラオケとしてもつかえますね。

6. 夜の宮入 (HDV)

河合源七郎さん 6分20秒

大阪市平野区の杭全神社で毎年7月11日から14日に行われる夏祭りのだんじりの夜の宮入です。だんじりの鐘の音と曳き子の掛け声が夜の神社にこだまします。夜の撮影はむづかしいですが、迫力のある映像によく撮られていました。

7. 09よさこい・鳴子踊り (HDV)

森田 光春さん 9分38秒

高知のよさこいは、年々衣装もカラフルで派手になり、音楽も創作され、踊り子さんの色気もあり見応えがあります。それをいかにカメラに収めるかが腕のみせどころだと思います。いままでいろいろな作者の作品を見せていただきました。抜きん出ようと思えばやはり編集力だと思います。

この作者の映像もすばらしいカットがたくさんあります。もう少し縮められて編集を工夫されると文句ない作品になると思います。エンディングは余韻のある編集をすればさらによくなるでしょう。

8. LACUMPARSITA (HDV)

有村 博さん 3分34秒

アルゼンチンタンゴの名曲、ラ・クンパルターに映像をつけられました。映像は、過去につくられたフィルムの映像と教本のダンスの図で創作されたそうです。テロップによりますと、ダンスレッスンの学生時代に思いを馳せて、青春時代の心に滲みる思いでの曲、回顧の音色と映像を表現されていました。良かったです。

9. 近江商人考・その1 (HDV)

進藤 信男 14分00分

日本一の湖、琵琶湖は、幾歳月もの人々の営意をその湖面に映し出してきた。その風光明媚な琵琶湖の東、湖東は古くから日

本の歴史の大きな舞台となってきた。その歴史を支えてきたのが、近江商人である。

作者は、その五箇商人や日野商人の起源や商法を詳しくよく調べられて構成しています。重い荷物の天秤棒を肩に幾百千里の道を歩き続け財を蓄えた商人の生きざまが表現された大作です。

10. なら灯花絵 (HDV)

井上 勝彦さん 8分42秒

神戸にお住まいの作者。奈良へ直通電車が開通し夜の奈良への撮影行です。毎年8月におこなわれる「なら灯花絵」今年で10年目になるイベントです。奈良公園一体に繰り広げられるローソクの灯の幻想的な光のページェントをうまく纏められていました。奥様のナレーションがいつそうムードを高められました。

11. 厳冬余部 (HDV)

江村 一郎さん 6分20秒

作者の余部冬シリーズ。何作も見せていただいた冬編、おそらくタイトルのつけように頭を悩ましたことだろう。降り積もった雪道でスリップして田圃に飛び込んだ車のクレーンでの救出から映像が始まります。すっばりと雪の衣をまとったお地蔵さん。何もかも凍てついた暮らしの中で鉄橋をわたる列車。その中に白地に赤い日の丸の国旗が淡い光をうけていた。おそらく元旦の朝だろう。静かな穏やかな光景です。この映像を見る限り厳冬かなという思いもしましたが、撮影者にとっては身の縮む思いだったろう。それにしてもすばらしい作品です。

12. 浜寺公園のばら庭園 (HDV)

蟹江 利一さん 7分03秒

風馨る5月、陽光ふりそそぐ公園のばら庭園。色とりどりのカラフルなバラが咲き誇り、散策にこられた幼稚園児の笑顔が画面からあふれています。女性のなめらかなナレーションに心が癒されます。なかなか広い公園ですね。最後に作者がワンカットでてきますが、「作者です」とテロップをいれられてはいかががですか。良かったです。

13. ラマダン IN イスタンブール (HDV)

山本 正夢さん 6分00秒

この作者は、海外のいろいろなところへ

いかれて撮影をされ、わたしたちを楽しませてくれます。今回は8月にいかれたトルコのイスタンブールです。ちょうどラマダン（断食の月）でイスラム教徒の義務の一つで日の出から日没まで飲食を断ち、お祈りをしている様子をカメラが追います。許可なし撮影だそうによく撮られました。

14. 街はレトロ (HDV)

山口 幸代さん 10分00秒

作者は鹿児島県の方で、今回は作品のみの出品です。JR門司港駅周辺地域に残る外国貿易で栄えた時代の建造物を中心とした、大正時代のレトロな雰囲気を醸し出しています。ちょうどレトロフェアが開催されています。門司港名物バナナのたたき売りのシーンが登場しますが、むしろたたき売りの方にテーマがあるような気がします。これの一つにしようと思えば、タイトルを変えるか、ナレーションで説明すれば良く解ったと思います。

15. 札幌駅界隈 (HDV)

那須 典彦さん 6分00秒

この作者も作品のみの出品です。作者の作品は画面の美しさにはもとより定評があります。札幌駅の周辺をくまなく撮影されています。きれいな画面を久方ぶりに拝見させていただきました。

16. モンブランを望みながら (HDV)

関 剛さん 8分45秒

モンブランは、ヨーロッパアルプスの最高峰（標高4811）である。雨あがりのシャモニーからロープウエーでのぼられた。車窓からのぞく霧につつまれた山々、やがてロープウエーが山頂に着くころは、霧がとれて冠雪のモンブランが顔をのぞかせた。やはりすばらしい光景だ。カメラをのぞく作者の心も轟いたことだろう。

きれいな映像を見せていただきました。

17. りんこうは今 (HDV)

前田 茂夫さん 10分31秒

和歌山県、御坊の町をのんびり走る、1両の電車、紀州鉄道。もとは御坊臨港鉄道と呼ばれた。路線全長はわずか2.7キロの日本一短いミニ鉄道だ。自転車ほどの速度で、路線脇の草をゆらし、家並みを縫うようにはしる。蝉の声が聞こえる駅舎、の

ぞかな田園の中を列車は走る。まるで100年前にタイムスリップしたような郷愁を覚えました。

18. 高千穂溪谷を歩く (HDV)

吉岡 貞夫さん 7分45秒

宮崎県高千穂峡は、その昔阿蘇火山活動の噴出した熔岩流が冷却されてできた、絶景の溪谷だ。上流から下流へと散策されました。すばらしい溪谷美を拝見させていただきました。前後にあるバスで移動中の映像は省かれてもいいんじゃないでしょうか。

19. イルミネーション2008 (HDV)

宮井 健さん 3分20秒

タイスの瞑想曲と歌に映像をつけられました。3カ所で撮影されたものを合成されたとか、イルミネーションの撮影は難しいですね。良かったですよ。

祭りのネタのお話 (第一回)

河合源七郎

「河合さんは、面白い祭りのネタをどのようにして集めてくるのですか？その秘訣は？」とよく聞かれます。そういえば、私は祭りでビデオのネタに困ったことはありません。しかし、秘訣といった特別のことは何もないというのが実情です。それならば、私の祭りのネタ探しの状況をありのままにご報告したら、OMCニュースの埋め草になるし、皆様のご参考になるかも知れないと、敢て筆を取った次第です。

祭りに行きますと、必ずと言ってよいほど「一人で熱心に祭りに向き合って、時たまコンパクトカメラに映像を収めたり、メモをとっておられる人を見かけます。このような人には概して「祭り気違い」が多いようです。このような人と、一言二言言葉を交わすうちに意気投合して、「あそこには行きましたか？」「あそこは面白いですよ。ぜひ行きなさい」と素晴らしい情報をくれます。勿論「素晴らしい」のは「その人にとって」であって、貴方や私にとってはありません。「面白いかどうか」は自分で判断しなければなりません。

(以下次号に続く)